

「沖縄県」の一年

8月	
10日	平成31年度の全国育樹祭の開催が沖縄県に決定
8日	「第11回若年者ものづくり競技大会」が沖縄県で初開催され、県選手が初の金賞を受賞

7月						
29日	29日	25日	22日	7日	4日	1日
開始	沖縄県の有効求人倍率(平成28年6月)が1.01倍と県内初の1倍台となった。	給付型奨学金の創設	国土交通大臣が沖縄県を相手に不作為の違法確認訴訟を提起	新造船「ニューウイングみんなII」が水納航路に就航	県立南部医療センター・こども医療センターの小児集中治療室(PICU)2床増	沖縄県推奨FreeWiFiサービス「Be.OkinawaFreeWiFi」の提供開始

6月			
30日	17日	17日	6日
水浴場が選ばれる。	環境省の「特に良好な水浴場」に県内8水浴場が選ばれる。	沖縄子ども未来県民会議の設立	認知症高齢者等の見守り活動に係る民間事業者との協定締結

5月			
31日	21日	20日	15日
「おきなわ技能五輪・アビリンピック2018」推進協議会設立	全島緑化県民運動 第67回沖縄県植樹祭を宮古島市伊良部カントリーパークで開催	北部病院を地域周産期母子医療センターに認定	翁長知事が米国ワシントンDC、ミネソタ州を訪問(5月19日)

4月						
26日	20日	15日	12日	7日	1日	1日
「沖縄のアジア経済戦略シンポジウム」の開催	琉球エア・コミュニターの新機材が就航	平成27年度の観光客数は793万6300人となり、国内客・外国客ともに3年連続で過去最高を更新し、800万人に届く勢いとなった。	シンガポールで開催された「Food & Hotel Asia 2016」で県産農林水産物をPR	県立開邦・球陽中学校及びやえせ高等学校開校式	沖縄県下水道事業において官民連携による再生可能エネルギー(バイオマス)発電事業の開始	手話を言語とし、その普及と理解を促進するよう定めた「手話言語条例」が施行

3月			2月	1月
28日	23日	4日	3日	4日
航空機整備基地整備事業の着手	南部医療センター・こども医療センターを小児救命救急センターに指定	辺野古埋立承認に関する代執行訴訟等について沖縄県と国が和解	新県立八重山病院建設工事の起工式開催	県立離島児童生徒支援センターの開所



7/1 外国人観光客の利用ニーズが高いFree Wi-Fi環境の充実が求められる中、県では今年度から、民間事業者の通信インフラを活用し、「Be.Okinawa Free Wi-Fi」の提供を開始しました。



6/17 関係機関105団体で構成する「沖縄子どもの未来県民会議」が設立され、寄付金等による基金を創設し、NPO等の活動や児童養護施設退所児童等への支援を行うことなどが了承されました。



5/31 技能五輪全国大会・全国アビリンピックの平成30年沖縄開催に向け、「おきなわ技能五輪・アビリンピック2018」推進協議会を設立し、大会基本計画を策定しました。



4/15 離島航空路の確保・維持を図るため、国と県から航空機購入費補助を受け、琉球エア・コミュニターが購入した新機材が、4月15日から県内離島に就航しました。(写真は就航式典)



4/1 下水道資源の有効利用及び地球温暖化防止の目的で、具志川浄化センターにおいて「再生可能エネルギー固定価格買取制度」を利用した官民連携のバイオマス発電事業を開始しました。



2/3 八重山圏域の新たな中核病院として、医療需要の変化や大災害にも対応できる機能を備えた新県立八重山病院の建設工事に着手し、起工式が建設地である旧石垣空港跡地で行われました。



1/4 高校のない離島から進学する生徒の寄宿舎及び小・中・高校生の交流拠点としての機能を併せ持つ県立離島児童生徒支援センター(定員120名)が那覇市東町で開所し、離島出身の高校生達が入寮しました。



11/22 リオ2016パラリンピックのウィルチェアラグビーにおいて、日本初のメダル獲得に貢献。多くの県民に大きな感動と活力等を与えたとして、仲里進選手に県民栄誉賞を贈り表彰しました。



11/21 国内最大級の国際食品商談会「第3回沖縄大交易会」を開催。県内企業73社を含むサプライヤー 261社、バイヤー224社が参加し、これまででも最大規模となりました。



10/31 沖縄平和賞は、平和を希求する沖縄の心を世界に発信するとともに、国際平和の創造に貢献することを目的として創設されました。第8回は、NPO法人難民支援協会へ贈賞しました。



10/26 「第6回 世界のウチナーンチュ大会」開催。29ヵ国・地域から大会史上最多の7,353人が来県し、多くの県民の皆様との交流を通して、ウチナーンチュの絆を深め合いました。



9/15 環境省は、平成28年9月15日、国内33箇所目の国立公園として、沖縄県北部地域を「やんばる国立公園」として新たに指定しました。



8/26 県と東京オリンピック・パラリンピックにおける事前キャンプ誘致に賛同する市町村が一体となって誘致活動に取り組むための、沖縄2020事前キャンプ等誘致推進委員会を設置しました。



7/25 能力を有しながらも経済的な理由で県外進学が困難な生徒を支援し、大学等進学率の改善を図ることを目的に、給付型の奨学金制度を創設し、募集を開始しました。

11月					
23日	22日	21日	21日	1日	1日
伊盛米俊氏(石垣市)が天皇杯を受賞	沖縄県県民栄誉賞表彰式の開催	平成28年度(第55回)農林水産祭において、	全国知事会に米軍基地負担に関する研究会が設置される。	新造船「フェリーごまみ3」が座間味航路に就航	家畜伝染病予防法等に基づく宮古島市平良港の指定港化

10月										
31日	31日	30日	26日	24・25日	23日	21日	21日	17日	3日	1日
第8回沖縄平和賞授賞式	沖縄先島地区(本島・多良間島・与那国島・波照間島・沖縄本島周辺地区(本島・粟国島・久米島・座間味島・渡嘉敷島間)における海底光ケーブルによる通信のループ化(平成28年11月1日供用開始)	世界のウチナーンチュネットワークを次世代へ継承・発展させることを願う「世界のウチナーンチュの日」を制定	「第6回世界のウチナーンチュ大会」開催(30日)	空手の日記念演武祭で3973名の「最多人数による空手の形」でギネス世界記録に認定	第148回九州地方知事会議及び第30回九州地域戦略会議沖縄開催	離島観光・交流促進事業「島あっち」に係る19離島のモニターツアー派遣開始	「ひきこもり専門支援センター」(県立総合精神保健福祉センター)内開所	平成27年度決算で県税の収入率が復帰後最高を更新。収入率(9.83%)が全国15位に!	国の文化審議会が、重要文化財(建造物)に「大宜味村役場旧庁舎」を指定することを文部科学大臣に答申	こども医療費助成事業の貸付制度開始

9月										
30日	29日	23日	22日	20日	18日	16日	15日	11日	3日	
沖縄県の完全失業率(平成28年8月)が3.9%と23年ぶりに3%台となった。	辺野古埋立承認に関する不作為の違法確認訴訟について、沖縄県が最高裁判所へ上告した。	「しまくとぅばの日」に関する条例制定10周年	県内離島・過疎地域(15市町村)の光インターネット環境の整備が始まる。	沖縄県立芸術大学開学30周年記念式典	辺野古埋立承認に関する不作為の違法確認訴訟について、福岡高裁が県敗訴判決を言い渡した。	第36回全国豊かな海づくり大会において、「恩納村コープサングの森連絡会」が環境大臣賞受賞	「やんばる国立公園」が誕生	沖縄県、ハワイ州及び済州特別自治道がグローバルグリーンアイランドパートナーシップ設立に関する合意書を締結	沖縄県、ハワイ州及び済州特別自治道がグローバルグリーンアイランドパートナーシップ設立に関する合意書を締結	与那原マリーナ安全祈願祭・供用開始式典の実施

8月		
29日	26日	20日
沖縄県人ペルー移住110周年記念式典	沖縄2020事前キャンプ等誘致推進委員会を発足	与那原マリーナ安全祈願祭・供用開始式典の実施

昨年は、県立離島児童生徒支援センターの開所、海底光ケーブル敷設整備など離島地域の機能強化へ向けて沖縄振興の流れをより一層加速させた年でした。さらに、世界のウチナーンチュ大会が感動に包まれ閉幕し、万国津梁の精神で世界のウチナーンチュネットワークを継承・発展させることを確認しました。基地問題については、辺野古新基地建設問題の解決や加重な基地負担の軽減、駐留軍用地の跡地利用等に取り組まれました。